

北電の控訴理由書を全面批判する5書面を提出!

志賀原発訴訟控訴審

「耐震性の立証言いがたい」

原告側 北陸電側への反論ほぼ終える

北陸電力志賀原発2号機(石川県志賀町)運転差し止め訴訟の控訴審第5回口頭弁論が

10日、名古屋高裁金沢支部(渡辺修明裁判長)であった。原告側はこの日までに能登半島地震の影響を指摘する準備書面を提出し、北陸電側の控訴理由に対する反論をほぼ終えた。

原告側は能登半島地震について、「耐震設計上、全く考慮されておらず、影響は北陸電が想定した最大の地震動を超えている。耐震安全性を立証したと言いがたい」と主張。来年2月までに新潟県中越沖地震の記録が原発に及ぼす危険性について、準備書面を提出する方針を明らかにした。

一方、北陸電側は新耐震設計審査指針で安全性評価の中間報告を

10日、名古屋高裁金沢支部(渡辺修明裁判長)であった。原告側はこの日までに能登半島地震の影響を指摘する準備書面を提出し、北陸電側の控訴理由に対する反論をほぼ終えた。

原告側は能登半島地震について、「耐震設計上、全く考慮されておらず、影響は北陸電が想定した最大の地震動を超えている。耐震安全性を立証したと言いがたい」と主張。来年2月までに新潟県中越沖地震の記録が原発に及ぼす危険性について、準備書面を提出する方針を明らかにした。

一方、北陸電側は新耐震設計審査指針で安全性評価の中間報告を

10日、名古屋高裁金沢支部(渡辺修明裁判長)であった。原告側はこの日までに能登半島地震の影響を指摘する準備書面を提出し、北陸電側の控訴理由に対する反論をほぼ終えた。

原告側は能登半島地震について、「耐震設計上、全く考慮されておらず、影響は北陸電が想定した最大の地震動を超えている。耐震安全性を立証したと言いがたい」と主張。来年2月までに新潟県中越沖地震の記録が原発に及ぼす危険性について、準備書面を提出する方針を明らかにした。

一方、北陸電側は新耐震設計審査指針で安全性評価の中間報告を

10日、名古屋高裁金沢支部(渡辺修明裁判長)であった。原告側はこの日までに能登半島地震の影響を指摘する準備書面を提出し、北陸電側の控訴理由に対する反論をほぼ終えた。

来年3月までに国に提出し、4月30日の弁論までに具体的な主張を行う。次回弁論は3月24日。

12.11 6日

一方、北陸電側は新耐震設計審査指針で安全性評価の中間報告を

10日、名古屋高裁金沢支部(渡辺修明裁判長)であった。原告側はこの日までに能登半島地震の影響を指摘する準備書面を提出し、北陸電側の控訴理由に対する反論をほぼ終えた。

原告側は能登半島地震について、「耐震設計上、全く考慮されておらず、影響は北陸電が想定した最大の地震動を超えている。耐震安全性を立証したと言いがたい」と主張。来年2月までに新潟県中越沖地震の記録が原発に及ぼす危険性について、準備書面を提出する方針を明らかにした。

一方、北陸電側は新耐震設計審査指針で安全性評価の中間報告を

10日、名古屋高裁金沢支部(渡辺修明裁判長)であった。原告側はこの日までに能登半島地震の影響を指摘する準備書面を提出し、北陸電側の控訴理由に対する反論をほぼ終えた。

原告側は能登半島地震について、「耐震設計上、全く考慮されておらず、影響は北陸電が想定した最大の地震動を超えている。耐震安全性を立証したと言いがたい」と主張。来年2月までに新潟県中越沖地震の記録が原発に及ぼす危険性について、準備書面を提出する方針を明らかにした。

一方、北陸電側は新耐震設計審査指針で安全性評価の中間報告を

10日、名古屋高裁金沢支部(渡辺修明裁判長)であった。原告側はこの日までに能登半島地震の影響を指摘する準備書面を提出し、北陸電側の控訴理由に対する反論をほぼ終えた。

原告側は能登半島地震について、「耐震設計上、全く考慮されておらず、影響は北陸電が想定した最大の地震動を超えている。耐震安全性を立証したと言いがたい」と主張。来年2月までに新潟県中越沖地震の記録が原発に及ぼす危険性について、準備書面を提出する方針を明らかにした。

12.11 6日

一方、北陸電側は新耐震設計審査指針で安全性評価の中間報告を

10日、名古屋高裁金沢支部(渡辺修明裁判長)であった。原告側はこの日までに能登半島地震の影響を指摘する準備書面を提出し、北陸電側の控訴理由に対する反論をほぼ終えた。

原告側は能登半島地震について、「耐震設計上、全く考慮されておらず、影響は北陸電が想定した最大の地震動を超えている。耐震安全性を立証したと言いがたい」と主張。来年2月までに新潟県中越沖地震の記録が原発に及ぼす危険性について、準備書面を提出する方針を明らかにした。

一方、北陸電側は新耐震設計審査指針で安全性評価の中間報告を

10日、名古屋高裁金沢支部(渡辺修明裁判長)であった。原告側はこの日までに能登半島地震の影響を指摘する準備書面を提出し、北陸電側の控訴理由に対する反論をほぼ終えた。

原告側は能登半島地震について、「耐震設計上、全く考慮されておらず、影響は北陸電が想定した最大の地震動を超えている。耐震安全性を立証したと言いがたい」と主張。来年2月までに新潟県中越沖地震の記録が原発に及ぼす危険性について、準備書面を提出する方針を明らかにした。

一方、北陸電側は新耐震設計審査指針で安全性評価の中間報告を

10日、名古屋高裁金沢支部(渡辺修明裁判長)であった。原告側はこの日までに能登半島地震の影響を指摘する準備書面を提出し、北陸電側の控訴理由に対する反論をほぼ終えた。

原告側は能登半島地震について、「耐震設計上、全く考慮されておらず、影響は北陸電が想定した最大の地震動を超えている。耐震安全性を立証したと言いがたい」と主張。来年2月までに新潟県中越沖地震の記録が原発に及ぼす危険性について、準備書面を提出する方針を明らかにした。

12.11 6日

一方、北陸電側は新耐震設計審査指針で安全性評価の中間報告を

10日、名古屋高裁金沢支部(渡辺修明裁判長)であった。原告側はこの日までに能登半島地震の影響を指摘する準備書面を提出し、北陸電側の控訴理由に対する反論をほぼ終えた。

原告側は能登半島地震について、「耐震設計上、全く考慮されておらず、影響は北陸電が想定した最大の地震動を超えている。耐震安全性を立証したと言いがたい」と主張。来年2月までに新潟県中越沖地震の記録が原発に及ぼす危険性について、準備書面を提出する方針を明らかにした。

一方、北陸電側は新耐震設計審査指針で安全性評価の中間報告を

10日、名古屋高裁金沢支部(渡辺修明裁判長)であった。原告側はこの日までに能登半島地震の影響を指摘する準備書面を提出し、北陸電側の控訴理由に対する反論をほぼ終えた。

原告側は能登半島地震について、「耐震設計上、全く考慮されておらず、影響は北陸電が想定した最大の地震動を超えている。耐震安全性を立証したと言いがたい」と主張。来年2月までに新潟県中越沖地震の記録が原発に及ぼす危険性について、準備書面を提出する方針を明らかにした。

一方、北陸電側は新耐震設計審査指針で安全性評価の中間報告を

10日、名古屋高裁金沢支部(渡辺修明裁判長)であった。原告側はこの日までに能登半島地震の影響を指摘する準備書面を提出し、北陸電側の控訴理由に対する反論をほぼ終えた。

原告側は能登半島地震について、「耐震設計上、全く考慮されておらず、影響は北陸電が想定した最大の地震動を超えている。耐震安全性を立証したと言いがたい」と主張。来年2月までに新潟県中越沖地震の記録が原発に及ぼす危険性について、準備書面を提出する方針を明らかにした。

原告団 ニュース
No. 87
07.12.25
F925-0052
熊鷹原発差し止め訴訟原告団
羽咋市中央町サ5 労働会館内
☎0767-2217385

3/4公判に結集し、中越沖震災を明らかにしよう!

☆のべ85頁の力作
第5回弁論は12月10日、名古屋高裁金沢支部(渡辺修明裁判長)で開かれ、原告側は第4準備書面(直下地震の想定及び福浦断層・酒見断層)、第5準備

書面(邑知潟断層帯)、第6準備書面(能登半島地震)、第7準備書面(原発震災)、第8準備書面(安全余裕)の5書面を提出。北電の控訴理由書に対する全面的な批判・立証を行いました。あわせて85ページに及ぶ力作です。

市民の公開要求で開示!

柏崎刈羽原発 震災直後の写真
岡山県「核に反対する津山市民会議」の石尾祐佑さん達は、保安院に対し7月27日、中越沖地震に関する写真・ビデオを含む全ての報告、情報を公開するよう第一次の請求を行いました。保安院は9月20日付で開示を決定し、地震から十一日の間に撮影された約7百枚の写真CDは9月28日に、文書CDは10月6日に受領しました。

この開示のニュースは10月8日、朝日新聞が各本社特報で報じ、地元紙・新潟日報も大きく掲載。翌日には共同通信の配信で各地方紙でも大きく報道されました。

東京春の裁判日程
●第1回 3月24日(月)午後2時
●第2回 4月30日(水)午後2時
いずれも名古屋高裁金沢支部

全国署名、真っ先に県へ提出!
- 12/6現在、483,294人 -
「北電に原発運転の資格なし! 全国署名」の中垣たか子、嶋垣利春共同代表ら20人が10月30日、県に署名を提出し、安全協定に基づき北電に再稼働しないよう申入れを」と訴え。山岸副知事は「署名を重く受け止める」と答えた。(写真は副知事室に積み上げられた署名の山。4面に詳細記事)



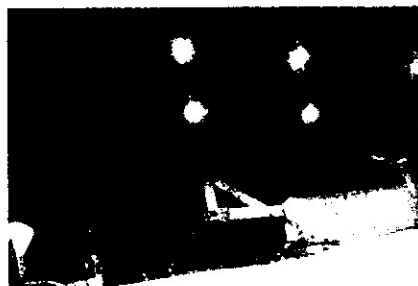
原子炉建屋はつるぎを抜かれた

国が隠した地震直後の写真 公開させる

10月15日、金沢で行われた武本和善さんの講演で、中越沖地震直後からの約2週間に保安院が撮影していた写真約7百枚が岡山の市民団体の情報公開要求で開示されたことが明らかにされ、その7百枚の写真データも入手できました。ここに掲載した写真は、全て保安院が9・

20付で岡山の石尾さんに開示したものです。原発中核部の被害は凄まじく、「もう廃炉しかない」としか言いようがありません。最新鋭のはずの6、7号機の惨状も驚きです。重要施設への立ち入りを制限し、事実を2ヶ月余も国と東電が隠していたことに怒りを覚えます。

◆作業員が落下 使用済み核燃料プール



使用済み燃料プールは原子炉真上にあり強度の高い部分だが、6、7号機は水中作業台が落下する事態に（写真は6号機）。プールの壁が各所でひび割れ、水漏れを起こしていたのも当然です。

◆建屋の壁破れ地下は泥だらけ



各所で壁が壊れ（写真下）、液状化した土と水が大量に浸入したため、各建屋の地階は泥水でいっぱい。腰の高さまであった箇所も（写真上：いずれも1号機複合建屋地下）。

◆2号機のクレーンも破損



6号機だけでなく2号機の原子炉建屋クレーンも破損していました（写真上）。揺れのひどさが分かります。クレーンがないと原子炉のふたを外したり、燃料棒を抜くこともできません。炉内機器の点検が、いっそう困難となるのは確実と思われます。

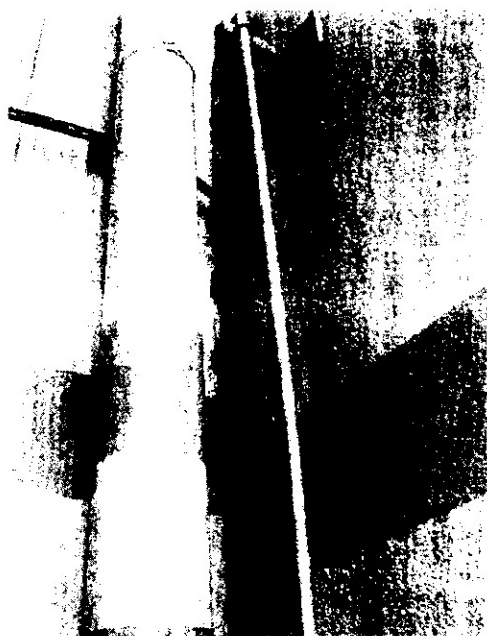
◆固体廃棄物ドラム缶も転倒



固体廃棄物貯蔵庫では、多くのドラム缶が倒れ、放射性廃棄物が飛び出している（写真中央）。東電は10月19日、倒れたドラム缶は約6百本、うち52本でトラブルと発表。

◆壁にずれ！直下断層動く？

左は1号機複合建屋地下。原子炉建屋とタービン建屋のつなぎ目が大きくずれていることが分かります（写真下部の壁に塗られた太い線は、地震以前はきれいに揃っていた。武本さんは「直下にある断層が動いたことを示すものではないか」と指摘しています）。



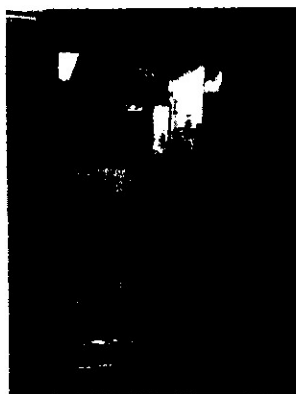
◆ボルト吹っ飛び、扉は閉まらず



止め金のボルトは吹き飛び、基板は壊れ、大きくずれています（上：2号機の基礎ボルト）。1号機の北西2重扉（写真左）や7号機の水密扉も閉まらず、開けっ放しになっています。

防油堤はギロチン破断！

4号機変圧器の防油堤も破断（左写真）。変圧器関連のこれら被災が重なる中で、3号機火災が起きました。柏崎市長が消防法による停止命令を出したのも当然です。



さらに署名を上積みし、再開への動き封じよう!



北電は1号機の核燃料96体を搬入したのに続き、11月29日には2号機の核燃料268体を搬入しました。平和センターや原告団は11月5日深夜〜6日早朝の監視・追跡・抗議行動につき、午後からは本社から志賀町に移転してきた原子力本部と、細川志賀町長に「40万人をこす全国署名」を提出しました。来年2月の北電本社などへの行動にむけ、50万署名(県内5万)を達成し、北電や国の運転再開の動きを何としても封じ込めましょう!もうひと頑張りです。

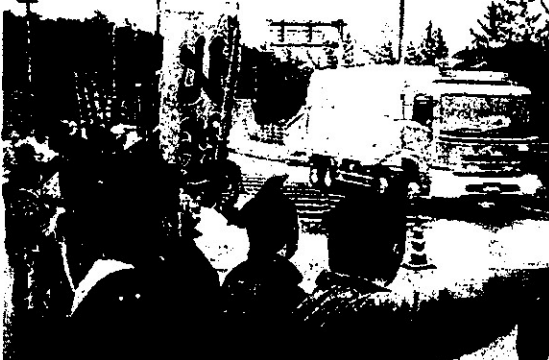
士心賀に2年ぶりに核燃料 1号機用96体搬入 11-7北中

志賀町赤住の北陸電力志賀原子力発電所に六日朝、1号機の核燃料九十六体が陸上輸送により搬入された。搬入は二年ぶりであり、2号機用の二百六十八体の燃料も年内に搬入予定。(小塚恵)

市民団体が抗議 原発撤退 申し入れも

志賀原発に通じる道路 第二倉庫九人が妨げ、北陸電力に対し「原発撤退」と求めた。北陸電力は原子力本部「志賀原発を再稼働させない」と述べた。北電は「申し入れがあった時点で、町民の安全を第一に考え検討したい」とする考えを伝えた。

同日午後には、原発に反対する市民グループでつくる「北陸電力に原発運転の資格なし!全国署名運動」が、段ボール二十三箱分になる四十万人を超えた署名を携え、北陸電力と志賀町に対し、原発からの撤退や志賀原発の運転を再開しないよう求める申し入れをした。



県平和運動センターによる抗議行動の前を通過する核燃料を積んだトラック=志賀町若葉台で

40万人を超える署名を前に申し入れる中継代表(石川さん)ら=志賀町で

各地のたより

- いつ大地震が起こるかかわからないのに、耐震設計は大丈夫だと強弁する北電は許せない!ともにがんばりましょう。(倉沢市・湯野町)
- 集めた署名を送ります。たくさん集まるといいですね。国や電力は、制御不能な本当に大変なものを使っているのだ、という認識をもっているとは思えません。公にならねばいいのだと思っているのでしょうか。(三浦市・宮下町)
- 原発耐震設計の安全面からも主張できそうです。今後、今後の弁論をしっかりと見極めていきたいものです。今後ともよろしくお願い致します。(遊覧車・水谷長)
- 控訴審の勝利と運転再開阻止のため頑張りましょう。遠く京都からですが、心から支援をいたします。(倉沢市・清水東)
- 地震国の日本では、原発はムリなのではと思っています。(世田谷区・本田修子)
- 一日も早い差止め判決を願っています。(倉沢市・石川善子)
- 原発の危険性はますます明るみに出てきました。なのに省エネのこまかし宣伝が出張ってきています。奇り切った勝ちたいですね。(大阪府・小井ひろ子)
- 娘が「六ヶ所村ラブソデイ」の自主上映会の企画に参加し、当日は若い人たちがたくさん集まってくれた様子を見て、未来への希望が開けた気がしました。(山梨県・橋本はるみ)
- 気持だけは常に熱く燃えています。どうか頑張ってくださいね! (野々市町・藤野孝子)
- 通信、ありがとうございます。とりかえしのつかない「事故」が現実になる前に運転停止の実現を! (三浦市・片倉善志)
- 署名運動の成功を祈っています。(倉沢市・金田小夜子)
- 20余年前もんじゅの工事変更申請に異議を申し立てたが、その職団会の通知が最近届きました。これが国のやり方! (事務局・タナカ)

<全国の動き、石川の動き>

- 9. 5 第3回口頭弁論(前号参照)後、拡大事務局会議
- 9. 20 岡山の市民団体が保安院に情報公開要求し、地震直後の柏崎刈羽原発内の写真700枚を開示させる
- 9. 27 新潟県議会で東田知事は「廃炉もあり得る」と答弁
- 10. 1 第4回口頭弁論(前号参照)
- 10. 4 柏崎刈羽6号、放水路の壁と天井に90位のひび
- 10. 12 弁護団会議
- 10. 15 金沢で武本さん講演会、700枚の写真を公開
- 10. 18 柏崎刈羽7号機で制御棒1本が抜けず
- 10. 20 志賀全町ピラ入れ(旧志賀全戸、旧富来1500戸)
- 10. 23 北電、2号機の追加補強を発表。来春完了を予定
- 10. 24, 25 7件の事故続く開電に福井県が厳重注意
- 10. 26 浜岡訴訟で地裁が超不当判決(旧指針でも十分!)
- 10. 30 全国署名提出&副知事申入れ(平和センター、県職団、原告団など20名)
- 10. 31 北電、永原社長が再稼働ねらい記者会見
- 11. 6 1号機核燃料96体搬入(150名が監視・抗議行動)
- 11. 6 原子力本部と志賀町長に署名提出&申し入れ
- 11. 10 女川原発3号が水温温度の上限こえ緊急停止
- 11. 11 長沢先生を囲み耐震性班検討会議
- 11. 23 事務局会議
- 11. 27 弁護団会議
- 11. 29 2号機核燃料268体搬入(平和センターが抗議声明)
- 12. 5 東電「活断層」認める(中越沖震源一申請時は否定)
- 12. 8 もんじゅを廃炉に! 全国集會に1500人